



校内研修とICT教育の推進

白水台地の陽光「さん」



本校では、外国語活動の授業の研究を始めて4年目になります。今年の研究テーマは「自ら学び、いきいきとコミュニケーションを図る児童の育成」です。先日、3年生で、そのテーマにそった研究授業を行いました。授業者は、本年度、新規採用で赴任した坂本拓望教諭で、「何が好き?『What do you like』」の単元でした。この日の時間は、お友達に好きな色を尋ねる学習で「What color do you like?」に慣れる学習を行いました。まず、赤、青、黄色、紫、黒・・・の色を外国語で発音したり、「What color do you like?」と、それに対する答え「I like red (blue, pink, green, yellow・・・)」を音楽のリズムに合わせて何回も練習しました。そして、学習の終盤では、学習した外国語の会話を使って、フルーツバスケットを行いました。子どもたちは、外国語活動の時間が大好きで、色々な単語を知っていましたし、外国語の会話をとても楽しんでいました。このような工夫した授業を積み重ねていけば、子どもたちのコミュニケーション力が高まるとともに、外国語に慣れ親しみ、外国の文化をもっと知りたいという子どもが増えてくると思います。



情報機器を活用したICTの教育にも力を入れています。菊陽町教育委員会のご努力により、昨年度末に電子黒板が全小中学校に配備されました。それに伴い、デジタル教科書が使用できるようになり、職員はこの機器を活用して、授業の工夫改善に取り組んでいます。さらに、タブレット機器も以前から配備されており、先日は、その使用に関わる業者の方に各学年の授業に入っただき、タブレット機器にインストールされているソフト(eライブラリー)の幅広い使い方について説明してもらいました。6年の社会科「都道府県名」算数「小数の計算」、1年算数「20までの数」についてのドリル学習を見ましたが、想像以上のものでした。効果的に活用し、学力向上につなげていきます。



鼻ぐり井手音楽劇・ボランティアガイドのTV撮影

テレビ熊本ドキュメンタリードラマ「加藤清正～民とともに生きた土木の神様～」収録に伴い、菊陽南小学校の児童の鼻ぐり井手音楽劇の練習と、ボランティアガイドの様子を撮影に來られました。例年、鼻ぐり井手祭や学習発表会前に練習を行い仕上げていきます。突然の依頼に戸惑いもありましたが、さすが南小学校の職員と子どもたちです。対応力の早さには驚かされました。ボランティアガイドの撮影では、主役の石黒賢さんも來られていて、子どもたちとの交流ができました。放送を楽しみにしてください。



小6交流会

9月6日(金)に、来年菊陽中学校に入学する菊陽北小、中部小、南小の6年生が、菊陽中学校に集まって交流を行いました。初めに、各学校の紹介がありました。次に、中学1年生からの中学校での生活・勉強・部活動等についての説明、最後に、仲良くなるためのゲームを行いました。今回の交流会は、南小が担当でしたので、会の進行、ゲームの内容決め等は、本校の6年生が行いました。見事な進行と内容で、他の学校の先生からたくさんお褒めの言葉をいただきました。学校紹介では、外国語活動を研究している学校の特徴を生かし、1人1人が英語で自己紹介を行いました。

